

「平成25年度 第1回県政モニターアンケート調査」 調査結果（概要）

県政の課題について、県政モニターの皆様のお考えをお聞きし、県政運営の参考とするために「県政モニターアンケート調査」を行いました。

〔調査内容〕 次の2項目について22問を設定

- ①長野県の「山」について
- ②児童虐待防止対策について

〔調査方法〕 ●調査地域 : 長野県全域
 ●調査対象者 : 県政モニター 1,220人
 ●調査方法 : 郵送及びインターネット
 ●調査期間 : 平成25年4月3日(水)～4月15日(月)

〔回収状況〕 回収数 851人 (回収率 69.8%)

回答者の内訳

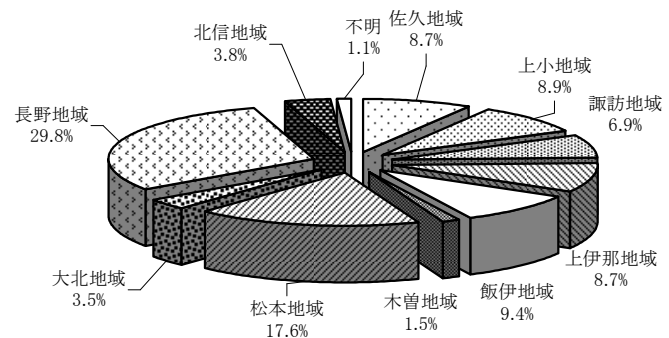
【男女別と年代別】

| | 総 数 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～69歳 | 70歳以上 | 不明 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|------|
| 総 数 | 851 | 15 | 67 | 132 | 194 | 260 | 174 | 9 |
| | 100.0% | 1.8% | 7.9% | 15.5% | 22.8% | 30.6% | 20.4% | 1.1% |
| 男 性 | 524 | 10 | 32 | 76 | 114 | 173 | 119 | — |
| | 61.6% | 1.2% | 3.8% | 8.9% | 13.4% | 20.3% | 14.0% | — |
| 女 性 | 318 | 5 | 35 | 56 | 80 | 87 | 55 | — |
| | 37.4% | 0.6% | 4.1% | 6.6% | 9.4% | 10.2% | 6.5% | — |
| 不明 | 9 | — | — | — | — | — | — | 9 |
| | 1.1% | — | — | — | — | — | — | 1.1% |

※ 割合(%)はすべて、総数(n=851)に対する割合

【地域別】

| 地 域 | 調査対象者数 | 回答者数 | 割 合 |
|-------|--------|------|--------|
| 佐久地域 | 103 | 74 | 8.7% |
| 上小地域 | 108 | 76 | 8.9% |
| 諏訪地域 | 92 | 59 | 6.9% |
| 上伊那地域 | 114 | 74 | 8.7% |
| 飯伊地域 | 112 | 80 | 9.4% |
| 木曽地域 | 17 | 13 | 1.5% |
| 松本地域 | 223 | 150 | 17.6% |
| 大北地域 | 35 | 30 | 3.5% |
| 長野地域 | 367 | 254 | 29.8% |
| 北信地域 | 49 | 32 | 3.8% |
| 不 明 | — | 9 | 1.1% |
| 合 計 | 1,220 | 851 | 100.0% |



1 長野県の「山」のイメージについて

問1 長野県の「山」のイメージ

■「清浄な空気や水を育む場」が約8割

| | |
|----------------------------|--------|
| ①「清浄な空気や水を育む場」 | 82.1 % |
| ②「スキーや登山などのスポーツの場」 | 69.4 % |
| ③「美しい景観を形成するもの」 | 68.7 % |
| ④「山岳、高原、溪谷や温泉などを利活用した観光の場」 | 66.0 % |
| ほか（複数回答） | |

2 長野県の「山」に対する興味について

問2 長野県の「山」に対する興味

■興味が「ある」と「多少ある」を合わせて約9割

| | |
|----------|--------|
| ①「ある」 | 55.2 % |
| ②「多少ある」 | 33.0 % |
| ③「あまりない」 | 8.7 % |
| ④「ない」 | 0.9 % |
| ⑤「わからない」 | 0.5 % |
| (単数回答) | |

3 長野県の「山」との関わり方について

問3 長野県の「山」との関わり方

■「観光(利用者として)」が6割弱

| | |
|---------------------------|--------|
| ①「観光(利用者として)」 | 56.9 % |
| ②「きのこ・山菜狩り」 | 45.7 % |
| ③「登山・トレッキング」 | 30.8 % |
| ④「スキー・スノーボードなどのウィンタースポーツ」 | 26.4 % |
| ほか（複数回答） | |

4 長野県の「山」に関する課題について

問4 長野県の「山」に関する課題

■「オーバークース(登山者の増加に伴う植物への影響、ゴミ問題等)」が5割超

| | |
|-----------------------------------|--------|
| ①「オーバークース(登山者の増加に伴う植物への影響、ゴミ問題等)」 | 55.2 % |
| ②「森林の荒廃」 | 54.4 % |
| ③「野生鳥獣による農林業被害」 | 53.3 % |
| ④「野生鳥獣による高山植物の食害」 | 51.6 % |
| ほか（複数回答） | |

5 長野県の「山の日」(仮称)の制定について

問5 長野県の「山の日」(仮称)の制定

■「賛成」と「条件付きで賛成」を合わせて7割超

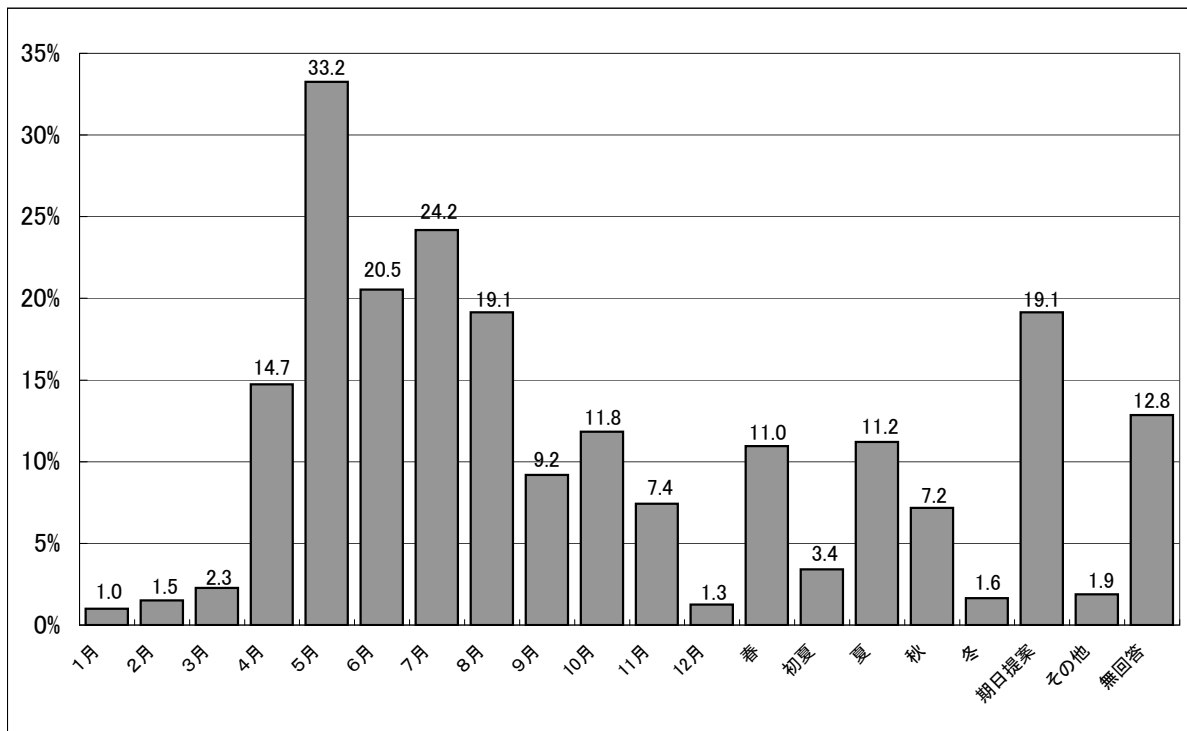
| | |
|------------|--------|
| ①「賛成」 | 62.9 % |
| ②「条件付きで賛成」 | 10.0 % |
| ③「わからない」 | 20.4 % |
| ④「反対」 | 6.0 % |

(単数回答)

6 長野県の「山の日」(仮称)の時期について

問6 長野県の「山の日」(仮称)の時期

■「5月」が3割超で最も多く、次いで「7月」が2割超



(問5で「賛成」、「条件付きで賛成」、「わからない」と回答した方対象：自由記載)

7 長野県の「山の日」(仮称)の名称について

問7 長野県の「山の日」(仮称)の名称

■「山の日」が2割超で最も多く、次いで「信州(の)山の日」が約2割

| | |
|-------------|--------|
| ①「山の日」 | 25.2 % |
| ②「信州(の)山の日」 | 18.8 % |
| ③「その他」 | 16.5 % |

ほか

(問5で「賛成」、「条件付きで賛成」、「わからない」と回答した方対象：自由記載)

8 長野県の「山の日」(仮称)に関する取組について

問8 長野県の「山の日」(仮称)に関する取組

■「環境保全活動」が約7割

- | | |
|------------------|--------|
| ①「環境保全活動」 | 71.9 % |
| ②「都市部への長野県の山のPR」 | 59.1 % |
| ③「自然観察会」 | 49.2 % |
| ④「山岳遭難防止の啓発活動」 | 44.1 % |
| ⑤「植樹祭」 | 42.8 % |

ほか

(問5で「賛成」、「条件付きで賛成」、「わからない」と回答した方対象：複数回答)

9 子育ての負担・悩みについて

問9 家庭での子育ての経験

■家庭での子育ての「経験あり」が9割弱

- | | |
|---------|--------|
| ①「経験あり」 | 86.1 % |
| ②「経験なし」 | 13.5 % |

(単数回答)

問10 子育てを負担に感じるとき、子育てに悩むとき

■「気持ちに余裕がないとき」が約5割

- | | |
|------------------------------|--------|
| ①「仕事や生活などが大変で、気持ちに余裕がないとき」 | 48.2 % |
| ②「子どもが言うことを聞かないとき」 | 37.4 % |
| ③「しつけの仕方や叱り方など対応の方法がわからないとき」 | 31.0 % |

ほか

(問9で「経験あり」と回答した方対象：複数回答)

問11 子育ての負担や悩みの相談

■「相談した」が4割超

- | | |
|-----------------|--------|
| ①「相談した」 | 45.9 % |
| ②「相談しなかった」 | 38.4 % |
| ③「わからない、覚えていない」 | 8.1 % |

(問10で「負担に感じることや、悩むことがない」と回答した方以外の方対象：単数回答)

問12 子育ての負担や悩みの相談先

■「夫や妻」、「夫や妻以外の家族や親族」がそれぞれ約7割

- | | |
|-----------------|--------|
| ①「夫や妻」 | 71.9 % |
| ②「夫や妻以外の家族や親族」 | 70.1 % |
| ③「（その他※の）友人・知人」 | 41.7 % |

ほか
(問11で「相談した」と回答した方対象：複数回答)

※ 隣近所の人、子どもが通う保育所・幼稚園・学校の親仲間、子育てサークルなどの親仲間、インターネット（ブログなど）以外

問13 子育ての負担や悩みを相談しなかった理由

■「自分自身で解決すべきことだと思ったから」が7割弱

- | | |
|-----------------------------|--------|
| ①「自分自身で解決（対応）すべきことだと思ったから」 | 67.0 % |
| ②「相談するほどのことではないと思ったから」 | 51.5 % |
| ③「ほかの人にはわかってもらえないことだと思ったから」 | 18.9 % |

ほか
(問11で「相談しなかった」と回答した方対象：複数回答)

問14 関係機関へ早期に相談してもらうために重要なこと

■「どのような相談先があるのか周知すること」が4割超

- | | |
|---------------------------------|--------|
| ①「どのような相談先があるのか周知すること」 | 42.8 % |
| ②「行政の窓口だけでなく、身近な相談先を増やすこと」 | 22.0 % |
| ③「相談した場合にどのような支援が受けられるのか周知すること」 | 19.6 % |

ほか
(単数回答)

10 児童虐待防止について

問15 通告制度に関する知識

■「通告・相談先を含めて、通告の義務があることを知っていた」が約4割

- | | |
|------------------------------------|--------|
| ①「通告・相談先を含めて、通告の義務があることを知っていた」 | 41.8 % |
| ②「通告・相談先は知っていたが、通告の義務があることは知らなかった」 | 24.7 % |
| ③「通告・相談先は知らなかったが、通告の義務があることは知っていた」 | 17.9 % |
| ④「まったく知らなかった」 | 14.8 % |

(単数回答)

問16 通告するときの不安

■「子どもの親（保護者）が腹を立て、虐待がますますひどくなるのではないか」が約5割

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| ①「子どもの親（保護者）が腹を立て、虐待がますますひどくなるのではないか」 | 47.6 % |
| ②「すぐに対応してもらえないだろうか」 | 40.5 % |
| ③「子どもの親（保護者）や家族との関係がきまづくなるのではないか」 | 39.6 % |

ほか
(複数回答)

問17 児童虐待にあたると思う行為

■「子どもに『あなたなんか、生まれてこなければよかった』とたびたび言うこと」が8割超

- | | |
|--|--------------|
| ①「子どもに『あなたなんか、生まれてこなければよかった』とたびたび言うこと」 | 85.0 % |
| ②「子どものおむつや衣服が汚れていても、取り換えない（着替えさせない）こと」 | 74.3 % |
| ③「思春期の子ども（異性）の体を必要以上にさわること」 | 64.6 % |
| | ほか (複数回答) |

問18 虐待の早期把握のために重要なこと

■「日常的に子どもと関わる機関が的確に子どもの状況を把握すること」が約3割

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| ①「日常的に子どもと関わる機関が的確に子どもの状況を把握すること」 | 28.0 % |
| ②「どのような行為が虐待にあたるのか周知すること」 | 23.5 % |
| ③「通告制度について周知すること」 | 16.0 % |
| | ほか (単数回答) |

11 児童虐待防止に関する県の広報啓発について

問19 県の広報啓発の認知度

■テレビコマーシャルの認知度が約6割

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| ①「児童虐待防止・子育ての悩み相談などに関するテレビコマーシャル」 | 60.8 % |
| ②「児童虐待防止・子育ての悩み相談などに関する新聞広告」 | 31.3 % |
| ③「まったく見たこと（聴いたこと）がない」 | 21.0 % |
| | ほか (複数回答) |

問20 広報啓発による意識・行動の変化

■「変化があった」が4割超

- | | |
|--------------------|--------|
| ①「変化があった」 | 44.5 % |
| ②「変化はなかった」 | 23.6 % |
| ③「どちらとも言えない・わからない」 | 26.8 % |

(問19で1つでも「見たこと（聴いたこと）」がある」と回答した方対象：単数回答)

問21 意識・行動の変化の内容

■「児童虐待が社会的に重要な問題だということを理解した」が約7割

- | | |
|--|-----------------------------------|
| ①「児童虐待が社会的に重要な問題だということを理解した」 | 68.9 % |
| ②「児童虐待やその疑いに気がついたら、すぐに連絡しようと思うようになった」 | 50.2 % |
| ③「児童虐待やその疑いに気がついたら、どのように行動すればよいかかわかった」 | 41.9 % |
| | ほか (問20で「変化があった」と回答した方対象：複数回答) |

12 児童虐待の原因と解決策について

問22 児童虐待の原因と解決策についての考え

■原因: 社会環境や経済環境の変化による負担の増大やゆとりの喪失

⇒ 解決策: 子育て世代(世帯)の負担やストレスの軽減

【原因】

- | | | |
|--------------------------------|-----|-------------|
| ①「社会環境や経済環境の変化による負担の増大やゆとりの喪失」 | 568 | (記述された内容の数) |
| ②「親(保護者)自身の問題や状態」 | 538 | |
| ③「家族・家庭内の問題」 | 83 | |
| | | ほか |

【解決策】

- | | | |
|-------------------------|-----|-------------|
| ①「子育て世代(世帯)の負担やストレスの軽減」 | 199 | (記述された内容の数) |
| ②「家庭を取り巻く地域による支援や見守り」 | 194 | |
| ③「親(保護者)に対する教育の実施」 | 124 | |
| | | ほか |

(自由記述: 記入者674名・記入率79.2%)